

発明の名称:スピーチプライバシー保護装置

利用・用途・応用分野

無料開放特許

病院の待合室・診察室、薬局等の受付、待合室、銀行のカウンターなど
第三者に会話を聞かれたくない場所

目的・課題

第三者に会話を聞かれたくない状況への対応として、既に音マスク装置の開発がされている。それらは複数スピーカーの設置を必要とする。また不特定多数の会話者の音声を含んだ周波数スペクトル形状を持つマスク音を発生する必要があり、不必要な周波数成分を含むため、周囲の第三者にとって煩わしくなる。

解決ポイント

会話通信部とマスク音発生部とマスク音制御部からなるスピーチプライバシー保護装置。マイクで検出した会話者の音声の周波数スペクトルを測定、周囲に流れているマスク音及び暗騒音の周波数スペクトルを測定し、マスク音及び暗騒音の周波数スペクトルを音声の周波数スペクトルと同じにするようにするプライバシー保護装置である。

研究概要・アピールポイント

- ①1つの室内での複数組の会話に対しスピーチプライバシーを保護可能。
- ②マスク音は第三者に不快感を与えない。
- ③簡易な構成で且つコスト減少。

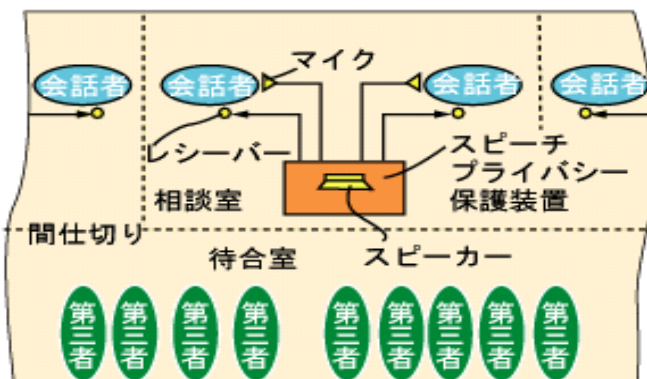


図1 本発明のスピーチプライバシー保護装置の設置図

◆ お問合せ先 ◆

有限会社山口ティール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail:tlojim@yamaguchi-u.ac.jp